

<オフナー光学系>

この光学系はパーキンエルマー社のオフナー氏の発明による。基本は同心球面ミラーを使うことで自動的に収差補正がなされる原理を応用したもので、ある像高で非点収差を除いて無収差に近い結像が可能になる。但し、良像の範囲は球心を通る対称軸に対して円環状の範囲に限られる。原理上色収差も無く、等倍結像する両側テレセントリック光学系になっている。ミラーのコーティングを変えれば真空紫外領域から赤外まで使うことができる。

この光学系は紫外光が使えるため、一時半導体リソグラフィに使われたが、倍率が1倍であるため(等倍のマスクを作るのが大変)、今は一部を除いて使われていない。また、この光学系はフェムト秒ストリークカメラ用の群速度分散の無い光学系として使用されている。オプトメカ エンジニアリングのトレードマークになっている。

